

トピックス

※トピックス記事の中には、議会のホームページで詳しく掲載しているものもありますので、ぜひ、ご覧ください。

第23回暴力追放福岡県民大会

11月18日、「第23回暴力追放福岡県民大会」が福岡市において開催されました。本大会は、暴力追放活動功労者を激励するとともに暴力追放の強い意志を表明することで、警察・行政・事業者・県民が一体となった暴力団排除活動のさらなる推進を図るため開催されたもので、会場には約1,500名の方々が集いました。

来賓として出席した加地邦雄議長は、それぞれの地域・職域において、各種暴力団排除活動に多大なご尽力をいただいている皆様に深く感謝申し上げますとともに、「県議会としても、去る10月7日の本会議において、県警察や県行政、暴力団排除活動推進団体などの関係機関との連携をさらに強化し、暴力団の壊滅に全力で取り組むこととする決議案を可決したところですので、今後も引き続き、暴力団の脅威にさらされている県民の皆様、そして矢面に立つ暴力追放運動推進センターを全面的にバックアップするため、鋭意努めてまいります所存です」と挨拶しました。



中国・江蘇省人民代表大会常務委員会友好代表团

11月20日、福岡県議会と友好交流を続けている中国・江蘇省人民代表大会常務委員会友好代表団の皆さんが、県議会を4年ぶりに訪問され、正副議長や各会派の代表者、福岡県日中友好議員連盟会長らが出迎えました。

加地邦雄議長は、「4年ぶりに友好代表団の皆様が来県されるということで、皆様とお会いし交流できることを心待ちにしていました。今後も、江蘇省人民代表大会と福岡県議会の素晴らしい関係を築いていきたい」と歓迎の挨拶をしました。

代表団の郭敏文(カクビンブン)団長は、「両省県の交流は、江蘇省の国際交流の模範となっており高く評価されています。これからも友好の絆を深めていきたい」と述べられ、その後、隣接する東公園内に開設された「福岡県・江蘇省友好記念庭園」などを訪れました。



平成27年福岡県警察年頭視閲

1月7日、福岡ヤフオク!ドームで平成27年福岡県警察年頭視閲が行われました。

来賓として出席した加地邦雄議長は、警察職員の日夜の努めに感謝を述べるとともに、暴力団対策の成果や飲酒運転事故の減少に触れ「県警察の取り締まりなどの各種活動の成果であると考えております。今後とも、県民生活の安心・安全を守るため、ご活躍いただきますよう心よりお願い申し上げます」と挨拶しました。

年頭視閲は、新年にあたり、警察部内の士気を高め、治安維持への決意を新たにするため行われているもので、警察官約660名と白バイ・パトカーなどの警察車両39台による行進や部隊点検、訓示などが行われました。



第221回13都道府県議会議長会議

11月6日、第221回13都道府県議会議長会議が東京都で開催され、加地邦雄議長、岩元一儀副議長が出席しました。

同会議は、大都市を有する都道府県(北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県)に共通する問題を解決すること等を目的としており、今回は、本県が提案した「公務員獣医師の人材確保について」ほか11項目について、国などの関係機関に要望することを決定しました。

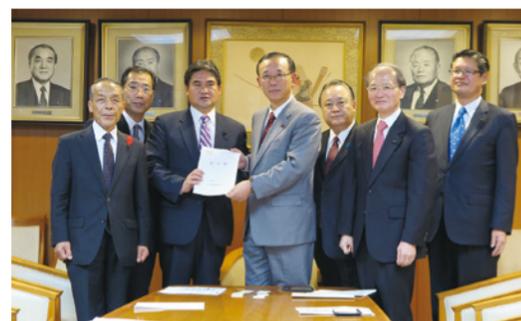


九州各県議会議長会 政府等への提言活動

11月10日から11日にかけて、加地邦雄議長及び岩元一儀副議長は、九州各県議会議長会による政府等への提言活動に参加しました。

10日は、岩元副議長が、西日本高速道路(株)を訪問し、高速自動車国道等の整備促進について要請を行い、11日は、加地議長が、総務省(あかま二郎大臣政務官)、内閣府(山谷えり子大臣)、公明党(石井啓一政務調査会長)、国土交通省(西村明宏副大臣)、自由民主党(谷垣禎一幹事長)、農林水産省(あべ俊子副大臣)、財務省(宮下一郎副大臣)を訪問し、九州各県から提出された特に重要かつ緊急を要する8項目について提言を行いました。

併せて、大分県、宮崎県、鹿児島県及び本県議会の議長で構成する、「東九州軸陸上交通高速化促進4県議会議長連絡会議」による合同要請・提言活動が行われ、西日本高速道路(株)及び国土交通省に対し、東九州自動車道の建設促進、日豊本線の高速化及びフリーゲージトレインの早期実用化、東九州新幹線の整備計画路線への格上げ及び早期着工の実現について、要請・提言を行いました。



自由民主党 谷垣幹事長(中央)

平成26年度九州八県赤十字大会

11月13日、常陸宮妃殿下のご臨席を仰ぎ「平成26年度九州八県赤十字大会」が福岡市において開催され、加地邦雄議長が来賓として出席しました。

本大会は、日本赤十字社が展開している国際活動や災害救護活動などの事業を側面から支えていただいている方々に対して赤十字有功章の授与並びに日赤感謝状の贈呈が行われるもので、当日は、74個人45法人の方々に対し、日本赤十字社名誉副総裁常陸宮妃殿下から有功章の授与や同社大塚義治副社長から感謝状の贈呈が行われました。

加地議長は、常陸宮妃殿下から、栄えある有功章のご授与を受けられた皆様や感謝状を贈呈された方々に対しお祝いを申し上げますとともに、「災害救護活動をはじめ、地域医療への貢献や安定的な血液の確保と供給など、その使命と役割は、誠に偉大なものであると存じております。世界各地では、頻繁な災害発生により、多くの人々が日々の生活に困窮する状態が生じており、国の内外から日本赤十字社に寄せられる期待はますます大きくなっていると実感するところでございます。今後も皆様方の一層のご活躍を心よりご期待申し上げます」と祝辞を述べました。

